

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 啓発宣伝費（新型コロナ対策）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 感染症対策調整課 企画連携係 電話番号：058-272-1111(内3383)

E-mail：c11238@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 20,450 千円 （前年度予算額： 49,546 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	49,546	49,546	0	0	0	0	0	0	0
要求額	20,450	0	0	0	0	0	0	0	20,450
決定額	8,180	0	0	0	0	0	0	0	8,180

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症は、一人一人の感染症対策の徹底と継続が極めて重要である。そのため、県民や事業者に対して、「感染症対策の徹底」について広く発信する必要がある。

具体的には、基本的な感染症対策（「場面に応じたマスクの着用」、「手洗い」、「換気」）のほか、県内の感染状況や知事メッセージ等についても情報発信を継続する。

（2）事業内容

新聞広告により広報を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	20,450	新聞広告を活用した広報
合計	20,450	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県は、その時点の感染状況に対応した「知事メッセージ」等を随時、的確に発出している。その内容の周知もまた、時期を逃さず、速やかに実施する必要がある。

(2) 国・他県の状況

国、他県においても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る各種広報を実施している。

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見極め、事業継続の要否を検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、県での実施は妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルスの感染状況を見極め、適時、適切な普及啓発を継続して実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルスの感染状況を確認に見通すことは困難であることに加え、県民に継続して情報を提供することが目的であるため、目標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	未実施
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	新聞広告、ラジオ等、各種広報媒体により広報を実施。 ・新聞広告（全7段）：岐阜新聞・1回、中日新聞・1回 （全5段）：岐阜新聞・21回、中日新聞・21回、朝日新聞・18回 （短冊）：岐阜新聞・353日 ・ラジオ放送（AM）：52回（土日） （FM）：52回（土日） ・のぼり旗：200枚 ・その他：JR岐阜駅前ニュースビジョン、岐阜バスチャンネルにて 知事・市長メッセージ放送
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	新聞広告、ラジオ等、各種広報媒体により広報を実施。 ・新聞広告（全5段）：岐阜新聞・14回、中日新聞・14回、朝日新聞・14回 （短冊）：岐阜新聞・354日 ・ラジオ放送（AM）：12回（土日） （FM）：12回（土日） ・のぼり旗：700枚 ・YouTube広告：2回
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止等のための啓発は、引き続き重要な対策の一つである。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	基本的な感染症対策の徹底が感染拡大防止において重要であり、一定の効果があると思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	感染状況や社会の反応を見極めながら、情報発信の内容に変化を加えたり効率化を図ることで、事業効果向上に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、より効果的・効率的な広報を展開するため、発信内容や広報媒体の工夫、改善を引き続き追求する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためには、継続した普及啓発が今後も必要である。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	